

## プログラム説明書

|          |   |          |             |
|----------|---|----------|-------------|
| 団体名      | 木工教室 癒楽木(ゆらぎ)   |          |             |
| プログラム名   | 森のかけらのお守りづくり  |          |             |
| 概要       | ・香川県の山の話、間伐の話、身近な山の樹木などを、クイズを交えながら問いかけ、その身近な山で間伐された樹木を使って、お守りを作る。   |          |             |
| ねらい      | <p>・「命ある樹」から「使うものとしての木」へのつながりを理解する。私たちは日常、暮らしの中で用いている木のものは、樹の命をもらって出来ています。「物を大切に作る心」「身の回りのものへの感謝の気持ち」を、体験を通して感じてほしい。</p> <p>・香川県産ひのきの間伐材を使用することで、山の手入れの大切さを学ぶ。</p> <p>・紙やすりの使い方を学ぶ。木の手触りや匂いを感じながら、作る楽しさを感じてほしい。</p> |          |             |
| 対象者      | 年長・小・支援学級   | 人数       | 20人程度(1クラス) |
| 実施場所     | 教室・図工室等 室内  | 実施時間     | 1時間半        |
| 学校の準備物   | 新聞紙・プロジェクター・スクリーン(またはモニター)<br>HDMI  | 実施団体の準備物 | 材料、PC       |
| 安全上の注意事項 | 特になし  |          |             |
| 雨天時の対応   | 特になし  |          |             |
| アピールポイント | ネットで知ったつもりになっている事でも、実体験として、見る・聴く・触る・匂うなどの五感を使った体験ができる。また、今、自分のこの生活が当たり前でなく、有難いことだと気付ける。   |          |             |

## プログラムの進め方

### 【導入】 約 10 分

①児童に、知っている樹の名前を問いかける。

例) さくら・まつ・みかん・・・。

②次に、木で出来たものを問いかける。

例) 机・椅子・積木・・・。

③樹 → 木 → への変身の流れをお話する。

木を育てて使うという循環(サイクル)を説明。

山で木を切る→山から運ぶ→製材する→製品にする。→山に木を植える。→木を育てる(間伐)→・・・

④みんなの手元にやってくるまでには、たくさんの人が手をかけていることを伝え、今日、準備している木には、たくさんの方の思いがこもっていることを伝える。

みんなの願いを込めて作っていきましょう！

### 【展開】 約 30 分～40 分

⑤森のかけらのお守りづくりを始めます。

紙やすりを使って木片のザラザラがツルツルになるまで削ります。途中で匂いを嗅いだり手触りを確認してもらったりする。紙やすり(粗目・細目 2 種類)

⑥オイルを塗って仕上げます。

⑦紐を通しビーズをつけて完成。

### 【まとめ・確認・片付け】 約 10 分

⑧どんな願いごとを、お守りに込めたか？感想を聞く。

⑨まとめ

樹が木になるまでにはたくさんの方の手をかけられている。→感謝の気持ち

紙やすりの使い方を学びました。→今日作ったお守りが欠けたりしたら、また、磨くとつるつるになります。→ものを大切に作る心。

日頃使っているカバンなどにつけて、大切に使うように伝える。



(写真の作品にはビーズ 2 個がついていますが、このプログラムでは 1 個になります。)